

## 第 340 回 IEC 研究会（科研費 19H01724 の研究会と共同開催）議事録

日時：2019 年 6 月 9 日（日）13:30-17:00

場所：京都情報大学院大学百万遍キャンパス

書紀：土佐

出席：江見、高橋、岡田、森際、中谷、中西、矢島、土佐

Zoom 参加：田中、西本

### 1.会務（諸会連絡・報告、情報回覧等）および、その他

- 5/26 micoro:bit プログラミング講習会 手塚山学院大学で実施。（高橋）

卒業生 6 名と阿濱先生の奥様、岡田さんが参加。

次回は 6/23。

- 出欠の管理を「伝助」で行うことを提案（江見）

毎回メールによる管理が面倒なので、伝助での管理に変更する。

会議の前半、後半、懇親会でそれぞれ参加可否（○、△、×）を入力。

希望により、会議の発表内容を前後することも可能。

次回（7 月）より運用開始。

### 2.研究発表

- 「WAZA Method の紹介と農業の事例」（江見）

Youtube での動画の視聴（日本語字幕が便利）で紹介。

<https://www.youtube.com/watch?v=GcPWB3P3gfs>

ウェアラブルカメラやドローン、ICT 機器を用いて教材を開発。

「いちご農家」を対象に行い、3 年の習得期間を 1 年に短縮。

作業習得型の教材として有効。

熟練者が名講師ではなくても、教材は ID に基づいてべつの方が作成。

今後は、教材を作るスキルを持つ人を増やすことが課題。

- 「e ラーニング世界標準化団体 IMS 世界大会参加への取り組み」（江見）

IMS を紹介。（e-Learning / ICT 活用教育分野における国際標準化団体）

内容はいちご農家の件。

江見先生のチームで IMS Japan 2017 を取得した。

■「WCCE2021 の開催と OCCE2018 のレポート」(江見)

WCCE、OCCE の紹介。

WCCE2021 が広島で開催され、江見先生が主催の一人となる。

OCCE2018 はリンツ（オーストリア）で開催され、江見先生が参加される。

主に写真での説明（電車 7 割、トルテ 2 割、学会内容 1 割の配分）

海外の学会では、論文の書き方のノウハウ講習があり、日本もこうなるべきと意見。

3.その他

■今後の会場について

7月14日 尼崎市立立花北生涯学習プラザ

8月16日 京都情報大学院大学百万遍キャンパス

・フォーラムの打合せ、大文字焼き

9月8日 尼崎市立立花北生涯学習プラザ

10月13日 尼崎市立立花北生涯学習プラザ（予定）

11月10日 京都情報大学院大学百万遍キャンパス（予定）

・紅葉狩り

12月1日 場所未定

・定例会+忘年会

以上